



病院長 池田 正寿

■ 昨年は新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。患者クラスターが発生してしまった医療機関の皆さま、感染症指定医療機関にご勤務されている皆さま、発熱患者さんにまず対応されてきた開業医の皆さま…本当にお疲れ様でした。この原稿は旧年中に作成しておりますが、全国的に新規感染症患者さんが多発しております。全国民が感染拡大防止のために日々不断的の努力を続けておられるとは思いますが、今年も油断のならない日々が続くのでしょうかね。



■ 昨年12月には英国でワクチン接種が始まった…との報道がありました。先行して投与が開始されたワクチンは mRNA テクノロジーで開発された初めてのものと聞いております。ワクチンと言えば生ワクチンか不活化ワクチンが当たり前でした。弱められてはいるとは言うもののウイルスそのものが体内に入っていたわけですから、それに比べて塩基配列情報のみが体内に入るので多分安全なものではないかな…と思います。ただ史上初という点で不安がないわけではありません。初物は体に良い…と言いますが、こればかりは別です。好成績を期待するばかりです。コロナウイルス感染症は (SARS・MERSを除いて) 普通に経験する風邪の原因ウイルスです。SARS は 2003 年には終息、MERS は一部地域に限定的であるのに対して今回の COVID-19 がこれだけ猛威を振るうとは想定できませんでした。人類の歴史は感染症との闘いであった…と言われていますが、21 世紀の今でもそれは変わらない…と感じます。

■ 新型コロナウイルス感染症が猛威を振るったことで様々な制約が課されました。当院でも多人数での会食制限や他県での学会・研究会への参加制限などを行いました。健康を守る砦としての医療機関の使命とそれを遂行するための事業継続計画 (BCP) として当然のことではありますが、同時に基本的人権である「行動の自由」を制限することでもありました。人類の歴史は感染症との闘いであった…と申しましたが、また個人の自由を守ることとの闘いでもありました。世界の中には今でもこの基本的人権が守られていない地域があり、非難や批判が繰り返されています。しかし、非難や批判を行っている国家でも感染症蔓延の事態の前では個人の自由の制限を粛々と受け入れています。制限を行うことが結果的に将来の自分の安全を保障することになるので当然と考えますが、懸念されることもあります。昨年は「自粛警察」なる言葉もはまりました。また、医療従事者やその家族への根拠のない差別も問題となりました。安全・安心のためにどこまで自由の制限のハードルを下げるのか……例えば「犯罪の増加」を防ぐため街頭の「防犯カメラ」の設置をどこまで許容すべきなのか……例えば騒音が迷惑だから住居地域の中に保育園の開設許可を認めないで欲しいとか……皆さまはどうお考えになりますか？



■ 個人の自由の制限は明日の生活にすぐには影響を与えませんが、新型コロナウイルス感染症による経済の停滞は日々の生活にすぐに影響を与えます。昨夏、国際通貨基金は 2020 年の世界の経済成長率は大恐慌以来の不況 (前年比 4.9% 減) になると予測していました。世界は経済のグローバル化と規制緩和を善として受け入れてきたように思いますが、結果として一部の企業 (例えば GAF A など) が世界経済のルールを決めてしまうような世界になってしまったようにも感じま

す。それが全体の幸福につながっているならば良いのですが、資産が一部の層にだけ集中していくのであれば不幸以外の何物でもありません。今回の厄災は今までの経済の流れを止める方向に働きました。官から民への流れを否定するものではありませんが、不況である現状では国家による市場独占への対抗策や雇用促進策を迅速に進めていただきたい (経済の専門家でない私が言うのもお門違いですが) と願います。



■ さて、昨年は悪いことばかりではありませんでした。私の所属する学会もネットでの開催が行われました。従来は参加が叶わなかった学術集会も現地に赴くことなく参加できました。何といたっても専門医資格更新のために必要な単位を得ることができたことはありがたく感じました。また、報道では全世界で環境改善が認められたとされています。昨春、ベネチアでは運河の透明度が増して底まで透けて見られるようになったとか、インドや中国でも大気汚染が劇的に改善した…との報道もありました。これだけ見るとやはり経済と環境は対立するのか…と感じてしまいますが、環境改善は未来の私たちのために必須の課題です。数年来言われているグリーン投資の意義は実感できていませんでしたが、今回の厄災を通じてその必要性を強く感じた次第です。



■ 今年は敢えて「あけましておめでとうございます」とは申しませんでした。来年はこの一文で始められることを祈っております。

# 謹んで 新春の御祝詞を 申上げます

## 医療資材等のご支援に感謝申し上げます

■コロナウイルス感染拡大に伴う当院へのご支援に感謝申し上げます。

- ・厚生労働省
- ・石川県
- ・金沢市
- ・金沢市医師会
- ・石川県看護連盟
- ・腎友会
- ・公益財団法人 平昭七記念財団
- ・株式会社福利厚生倶楽部
- ・エムスリー株式会社
- ・ゲンキー株式会社
- ・一般社団法人 日本心血管  
インターベンション治療学会
- ・株式会社日立製作所
- ・公益社団法人 日本看護協会
- ・京セラ株式会社

上記のほか、個人を含め多数の方々からご支援を賜りました。ここに厚くお礼申し上げます。

院長 池田 正寿



(一部ですが、これらの医療資材をご支援いただきました)

■ 病院長 新年ご挨拶

■ 医療資材等のご支援に感謝申し上げます



救急は 24 時間  
365 日対応  
☎ 076-253-8000

## 外来担当医一覧表

	月	火		水		木		金		土
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
循環器内科	名村	①						②	①	⑤
	池田						①			⑤
	堀田		①							⑤
	寺井	③		①⑧						⑤
	北川									⑤
	役田									⑤
	吉田			④						⑤
	柏原									⑤
	小谷				④					
不整脈科	木村	⑥		⑦ ⑦						

① 初診専用外来(受付は1時30分まで) ② フットケア外来 ③ 禁煙外来 ④ 睡眠時無呼吸外来(13時30分~16時:要予約) ⑤ 7週に1回 ⑥ ペースメーカー外来(第1・2・4週のみ) ⑦ 不整脈外来(要予約) ⑧ TAVI 外来

心臓血管外科	上山	坂倉
		①
		②③

① リンパ浮腫・多汗症 ② ペースメーカー外来※ ③ 新患静脈瘤外来(要予約)※  
※緊急手術で休診の場合もありますので、お問合せください

腎臓内科	浅香									
放射線科	分校									
糖尿病内科	※交代制									
呼吸器内科	西山									第4
消化器内科	稲垣									
整形外科	出村									第1
	林(克)									第3
皮膚科	中村		①							

① 10時~12時:要予約

### 外来診療時間

月~金	9:00 ~ 12:00
	13:30 ~ 16:00
土 (第2土曜日休診)	9:00 ~ 12:00

休診日: 日曜日、第2土曜日、祝祭日、  
年末年始(12月30日~1月3日)、  
お盆休み(8月15日、16日)

### 面会時間

当院の面会時間は20時までとなっています。緊急を要する患者さま以外は、21時以降入館をお断りしています。申し訳ございませんが、緊急のご用の方は夜間受付までお越しください。

### ■ 病院理念

高度な循環器専門医療から高齢者慢性期医療にいたるまで「患者さま」に寄り添った医療を提供します。

### ■ ビジョン

循環器診療の総合的・地域中核病院になること。  
地域・患者ニーズに合わせた病院機能への転換。



医療法人社団浅ノ川

心臓血管センター金沢循環器病院

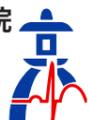
〒920-0007 石川県金沢市田中町は16

TEL076-253-8000 FAX076-253-0008

http://www.kanazawa-heart.or.jp

info@kanazawa-heart.or.jp

編集 / 広報委員会 はあとふる Vol.56 発行日 2021.1.25



浅ノ川病院グループ 心臓血管センター金沢循環器病院

www.kanazawa-heart.or.jp

new year 2021